



標 題	水稲乾田直播栽培の実証試験、順調！		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和 7 年 6 月 25 日	場所	西予市宇和町現地ほ場	
指導対象	水稲乾田直播栽培実証農家（1 人）	連携機関	JA ひがしうわ、農業共済南予支所、全農えひめ	
普及指導内容	○当班では、将来的な水稲の規模拡大の技術として注目されている「乾田直播栽培」について、3 品種（「コシヒカリ」「にじのきらめき」、飼料稲）で実証を行っており、4 月の播種以降、定期的に生育状況を確認している。			
結果と今後	○現在のところ、慣行の稚苗移植栽培と比較しても、最高分けつ期の㎡当たり分けつ数、葉色（SPAD 値）、雑草対策について、良好であることを確認した。 ○今後は、ドローンを活用した穂肥の施用や病虫害防除を行い、出穂期に備えていく。 ○当班では、今後も収量・品質・省力化などの生産技術及び資材等の実用化試験を実施し、地域の生産者に有益となる技術確立を目指す。			




播種作業（4/9）




生育状況（6/25）

**【乾田直播栽培】**  
代かきを行わず、直接播種する方法。育苗や代かき作業の省力化が図られ、全国的にも注目されている技術

標 題	高校生に対し地域農業学習会を開催		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和 7 年 5 月 29 日	場所	県立宇和高校 農場研修室	
指導対象	県立宇和高校生物工学科生徒 (29 人)	連携 機関	県立宇和高校	
普及指導 内容	○若者へ農業の魅力を伝え、将来の就農者を確保育成するため、県立宇和高校生物工学科の生徒を対象に「地域農業学習会」を開催した。 ○学習会では、愛媛県や西予市の農業の現状や、農業と SDGs の関係等について講義した。 ○また、生徒に「自分の考える儲かる農業」について考えてもらい、発表を行った。			
結果と 今後	○生徒の考える儲かる農業では、「収穫に係る労力を減らすため観光農園に取り組む」「農業者同士で新たなブランドを作り、安定供給先を探す」など、様々なアイデアが発表され、就農した際の具体的なイメージの想起が図られた。 ○講義全体を通して、生徒からは「農業は大変という印象があったが、いろいろと挑戦できる分野だと分かり、興味が沸いた」「西予の農業をもっと応援していきたい」といった意見が寄せられた。 ○当班では、今後も教育機関と連携し、将来の就農者確保に取り組む。			





左：指導班による講義

右：自分なりの「儲かる農業」について考える生徒たち

標 題	地元の子供たちが、大野ヶ原にんにくの収穫作業を体験		機関名	八幡浜支局地域農業育成室 西予農業指導班
年月日	令和7年6月19日	場所	西予市野村町大野ヶ原	
指導対象	西予市立大野ヶ原小学校児童（8人） 県立野村高校生徒（25人） 大野ヶ原にんにく組合（3人）	連携機関	西予市、（株）祐、県立野村高校、 西予市立大野ヶ原小学校	
普及指導内容	○大野ヶ原で生産する寒地系にんにく（品種：「福地ホワイト六片」）の理解促進とPRを図るため、地元の小学生・高校生を対象に、収穫体験交流会を開催した。 ○当班は、手堀りによるにんにくの収穫や根切り調整作業の方法を説明した。 ○また、高校生からは、昨年度開発した大野ヶ原にんにくとのコラボ商品であるバーベキューソースを使用した料理の紹介があった。			
結果と今後	○児童からは「手で収穫するのは大変だったけど、機械を使うと楽に収穫することができてすごいと思った」「大野ヶ原にんにくを早く食べたい」といった感想が聞かれた。 ○高校生が開発したバーベキューソースを使用した料理レシピは、今後、バーベキューソース取扱店で配布する予定である。 ○当班は、今後も大野ヶ原にんにくの安定生産と知名度向上に取り組む。			
<div><div></div><div></div><div><p>左：高校生が考案した料理の紹介</p><p>右：高校生・小学生による収穫</p></div></div>				